

## ピロリ菌

### 感染胃炎の除菌

下仁田厚生病院内科

副院長 堀越 勤

(はじめに)

ピロリ菌(ヘリコバクター・ピロリ)は胃の中に生息している細菌です。ピロリ菌の作り出すいろいろな物質が胃粘膜を傷つけて、慢性活動性胃炎(ピロリ菌感染胃炎)が生じます。ピロリ菌感染胃炎から胃潰瘍・十二指腸潰瘍・胃MALTリンパ腫や萎縮性胃炎などが発生します。萎縮性胃炎が、やがて腸上皮化生と呼ばれる腸の粘膜に類似した粘膜に置き換わり、その一部が胃がんに進展することが分かってきました。

(ピロリ菌の除菌)

ピロリ菌を飲み薬で除菌治療することで、胃潰瘍・十二指腸潰瘍の再発がほぼ抑えられることから、平成十二年十一月から、ピロリ菌に感染している胃潰瘍・十二指腸潰瘍に対して除菌治療が保険で認められるようになっていきます。

このことは、ご存知の方も多く、実際に、除菌治療をされた方もいらっしゃると思います。

さらに、平成二十五年二月からは、胃がんの撲滅を目的として、胃がんの前段階であるピロリ菌感染胃炎の除菌も保険で認められるようになりました。

(ピロリ菌感染の診断)

①胃潰瘍または十二指腸潰瘍、②胃MALTリンパ腫、③特発性血小板減少性紫斑病、④早期胃がんに対する内視鏡治療後、⑤内視鏡診断による胃炎のいずれかが認められ、ピロリ菌感染が疑われる患者さんであれば、採血・呼吸テスト・糞便中抗体検査・胃粘膜採取(迅速ウレアーゼ試験・鏡検法・培養法)のいずれかの方法で、ピロリ菌が実際に感染しているかどうかを検査します。

(ピロリ菌除菌療法の実際)

ピロリ菌感染が確認された場合、二種類の胃酸を抑える薬と二種類の抗生物質、合計三種類の薬を二日二回、七日間内服します(二次除菌)。さらに、もとの病気の

治療を四週間以上続けた後に、除菌が成功したかを判定します。除菌が成功すればよいですが、万二次除菌が不成功でも、二次除菌として、二種類の胃酸を抑える薬と、一次除菌とは違う抗生物質を二種類入れかえた組み合わせの合計三剤を二日二回、七日間内服します。除菌判定はやはり四週間以上間をおいて実施します。除菌成功率は、一次除菌のみでは約八十五から九十パーセント、二次除菌まで含めれば約九十五パーセントほどになります。

(注意すべき点)

ピロリ菌感染胃炎を除菌治療する場合は、内視鏡検査が必須となります。血液検査だけでは、保険適応とならないので、注意して下さい。また、除菌治療に伴う副作用や除菌治療成功後でも胃癌の発生があることを知っておく必要があります。

(終わりに)

ピロリ菌感染胃炎からの早期胃がん発生予防を含め、ピロリ菌の除菌は大切です。保険を利用して除菌が可能になったことか

ら、ピロリ菌感染が疑われる方は、医師に相談してみてください。

お出掛けください

山際稻荷神社例大祭

○3月22日(土)

午後1時～午後8時

町内渡御(山車)

○3月23日(日)

午前9時～午後5時

境内開市

※雨天の場合中止になることがあります。

問い合わせ先

下仁田町観光協会

☎6418805

ジオパークで  
地域に活力を!!

# ジオパーク推進だより

下仁田町自然史館(ジオパーク推進室)  
下仁田町大字青倉158-1  
☎70-3070 FAX67-5315  
<http://www.shimonita-geopark.jp/>

## 行事報告

- 1月 5日(日) 年金者組合前橋支部南分会 43名
- 1月12日(日) 宇都宮大学教育学部ジオツアー 10名
- 1月21日(火) 湯の沢トンネル10周年記念イベントを考える会 6名
- 1月24日(金) 下仁田中学校1年生 55名
- 1月25日(土) 下仁田町職員労働組合 自治研部 10名

## 自然史館の利用他

1月12～14日 本宿陥没研究会



▲旧田島屋こんにやく精粉工場内

## 行事予定

現地観察会『まちなかと旧田島屋こんにやく精粉工場』

日時 3月9日(日) 9:00～12:00

場所 下仁田駅集合

内容 下仁田のまちなかには、先人たちがこの土地の地形や地下資源を利用しながら、歴史を積み重ねてきた名残があります。その一つとして、平成10年まで操業されていた旧田島屋こんにやく精粉工場を見学します。工場内は普段見学することが出来ないのので、ぜひご参加ください。

持ち物 動きやすい服装・帽子・飲み物・雨具

申込み ジオパーク推進室 ☎0274-70-3070

※土日祝日も申込みいただけます。



▲精粉用の杵と臼

## ネギとコンニャク・ジオパーク 『中央構造線と鎗川』

下仁田町の中心部を、大北野-岩山断層が東西に横切っています。これは日本列島の九州、四国、本州を横断する「中央構造線」の一部だと言われています。この断層の北と南では地下構造が大きく異なり、南側では青岩が基盤となっており、北側では数種類の岩石が複雑に分布します。

ジオサイト「川井の断層」でその境目を見ることができ、南は青岩、北は貝化石を含む海の時代の地層が見られます。また、大北野-岩山断層の北側では、複雑な岩石が分布する中を鎗川が流れています。

これらの岩石には硬いものから軟らかいものまで様々です。川は硬い岩盤を削って流れる時、川幅は狭く、深くなります。一方で軟らかい岩盤を削って流れる時は、川幅は広く、浅くなります。下仁田の鎗川流域は中流域に渓谷と広い川原が連続し、その中には硬い岩盤を削ってできた『平滑(なめ)・はねこし・不通』といった3つの渓谷があります。



▲不通渓谷

※下仁田町自然史館では、午前9時から午後4時まで展示室を開放しています。ぜひお出かけください。

問い合わせ先 下仁田町自然史館(ジオパーク推進室) ☎70-3070